

令和3年度

入学試験 国語問題

注

- 解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 問題用紙は持ち出さないこと。
- 字数制限のあるものは、原則として句読点、記号も一字に数えます（指示のあるものは除く）。

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

進化論を説明する時に、よく系^Aトウ樹というものが用いられます。根元は一つで、どんどん枝分かれして行って、一番上に現在の地球上にいるいろんな生物が並んでいるやつです。下のほうをたどっていくと、別々の生きものがくっついていて、

素直な人は、「昔は同じ生きものだったものが、進化の過^Bテイで別々の生きものになったのだな。そういう流れで生物は進化して、今の人間はその最先^Cタンのところにいるのだ」と納得するかもしれません。

①、同じ生きものが別の生きものに分かれることがあるのなら、その逆が起きる、ということとは考えられないでしょうか。

虫で考えてみましょう。

虫は成長する際に、変態^①をします。ごく簡単に言えば、幼虫と成虫で姿が変わってしまうということです。人間のような哺乳類^{にゅうい}は、変態をしません。赤ちゃんと大人とで姿は変わりますが、基本的なパーツは同じです。

虫の他には甲殻類（エビなど）も変態をします。この変態は、不完全変態と完全変態とに分けられます。

②、トンボは前者にあたります。ヤゴがトンボに変わる際、基本的にヤゴのパーツはトンボにそのまま生きている。ヤゴがエサを噛むときに使っていたアゴは、少しだけ修正が加えられたうえで、トンボのアゴになるわけです。

一方でチョウは後者の完全変態です。モンシロチョウの幼虫が、キャベツなどの葉っぱをかじっているのを見たことがあるでしょう。幼虫の時には、かじるためのアゴを持っているわけです。ところが、チョウになったら葉っぱをかじったりはしません。ストローのような口で蜜を吸います。

どうやったら、かじる口を吸う口に変えられるのか。

その秘密は、さなぎの時期にあります。チョウはさなぎになった時点で、幼虫の時に活動していた細胞を全部一回、スクラップにしてしまうのです。一方で、持っていたけれども、分化させていなかった——簡単にいえば、しまったままの状態だった——細胞を徹底的に増やして行って、新しくチョウの体をつくるわけです。幼虫の時に使っていた内臓も何もかもつくりかえ

てしまう。

家にたとえていうならば、不完全変態はリフォームです。家の基本部分は残しつつ、あちこちに手を加えて新しい家にする。一方、完全変態は新築です。古い家を一回取り壊して、跡地にまったく別の家を建てる。

ですから、考えようによっては、幼虫とチョウは別の生きものだともいえます。

そう考えると、次のような仮説が浮かんできます。

もともと、チョウの幼虫と成虫は別々の生きものだった。幼虫のほうはキャベツの上をウロウロしていて、成虫のほうは花の上をヒラヒラ飛んでいた。それがあるとき、幼虫の中にチョウが住み着いて「仲良くやろうや」と話をつけた。片方は地面で一所懸命に食べて太り、もう片方はヒラヒラ飛んで生殖行為に励む、ということと役割分担を決めた。③ 幼虫と成虫の形はまったく違うのだ、と。

そんなバカな、と思われるでしょうか。でも、そう考えたほうがわかりやすいという例が生物の世界にはいくらでもあります。ヒトデは星型をしています（実際には星はあんな形をしていないから、正確に言えばヒトデ型なのですが、ともかくあいう五軸対称の形をしています）。

④、その幼生はどうか。こちらはエビのような、他の生物でもよく見られる左右対称の形になっています。

なぜふつうの形のものが、五軸対称の形になるのか。途中で別の生きものに乗っ取られた。そう考えてみたらどうでしょう。もちろん、② こうした疑問には、きちんとした生物学的な説明はなされています。ふつうに生物学を勉強すれば、「ここがこうなって、こうなるから変わるのだ」ということを教わります。そこで素直な人は、そういうものか、と納得するわけです。

でも、私は素直ではないので、疑ってしまう。もともとは乗っ取りだったんじゃないか、と。あまり、そういうことをいう人は多くありません。

「あいつ今は人間だけど、もとは犬だったんじゃないかねえの」

そんな話が出てくるのは落語くらいで、真面目に言うとおかしな人と思われるかもしれません。

しかし、別に思いつきのレベルでこういうお話をしているわけではありません。

シロアリは木材を食べます。ところが実は、木材のセルロースを分解できる酵素を持つ生物はほとんどいません。例外的にカタツムリは持っています。シロアリは持っていない。(1)

なぜシロアリは木材を食べることができるのか。それは胃の中にセルロースを分解できるアメーバを持っているからです。これがあるから、木材を消化できる。それで人間に迷惑がられる。(2)

面白い実験があります。このアメーバはシロアリよりも熱に弱いことがわかっていて、温度を上げていくと、アメーバだけが死んで、シロアリは生きていくという状態になる。(3)

こうなると、シロアリとアメーバは別の生きものと言えるのでしょうか。運命共同体と考えるのが自然でしょう。(4)

体内に別のものを持っているのは珍しいことでも何でもありません。人間のお腹の中には、六〇兆とも一〇〇兆ともいわれる数の細菌がいます。昔、顕微鏡を作ったオランダのレーウエンフックという学者は、自分の歯の間をそれで見^Dてギョウ天したそうです。あまりにおびただしい数の生きものが動き回っていたからです。

駅のエスカレーターのベルトには「除菌」と書かれています。でも、それに乗っている私たちの体内にはとんでもない数の菌が住み着いている。すでに菌と共生しているのです。

だんだん話がつながってきました。

こういう状態——共生といってもいいし、Xとか運命共同体といっても構いません——が、自然の本来の姿である。そう考えると、個性を持って、確固とした「自分」を確立して、独立して生きる、などといった考え方が、実はまったく現実味のないものだと考えられるのではないのでしょうか。生物の本質から離れているのは明らかです。

かつてアームストロング船長が月に行きました。月面は真空なのに、活動できたのは宇宙服を着ていたからです。では、その宇宙服とアームストロング船長の間には何があったか。地球の空気です。それがなければ船長は即死です。

③これはアマーバとシロアリの関係と同じことです。

つまり、地球の環境と私たちの関係はそういうものなのです。

「環境が大事だ」ということに異を唱える人はいないでしょう。でも、どれだけの人が、環境と私たちは X、同じものなのだという点に思い至っているか。本気でそう思うことができているか。

どこかで「自分は自分」「人間は人間」「環境は外にあるもの」と思っていないでしょうか。そういう人が増えたのは、ルネサンス以降の「個人」中心の考え方が幅をきかせてきたからです。「自分」を周囲から独立した存在として立てて、関係を切っていく。周りは全部異物ですから、つまるところはマイナスです。^{*} 臨死体験と逆なわけです。

仏教をひいきするわけではありませんが、こうした点についてはより自然な考え方をしています。さまざまなものとのつながりを重要視しているからこそ、「Y」という発想が出てくる。

⑤これまで私は、よくブータンに行った時の話を紹介してきました。『死の壁』（新潮新書）にも書きました。食堂で、私の飲み物にハエが入ってきた。現地の人はそれをつまんで、助け出してやったあとに、こちらに向かって、「お前のじいさんだったかもしれないからな」と笑った。

ブータンには、お互いがつながりあっているという教えが生きているのです。

もちろん、本当にハエが私のじいさんのはずがありません。そういうことをあまり大真面目に本気で信じ込むと、それはそれで、^Eヘイ害があるかもしれません。

でも、そういう考え方を持っていることには意味があるのです。

（養老孟司『自分の壁』より）

※ 筆者は、最初の章で臨死体験を「自分と世界の区別がつかなくなつて、『ぜんぶ自分』となると、敵も異物もない状態です。だから至福の状態になるのです。」としている。

問一 傍線部A～Eのカタカナを漢字で表記したとき、同じ漢字を使うものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A 系トウ

ア トウ亡者を追いかける
イ 伝統をトウ襲する
ウ 国内をトウ一する
エ 湖面がトウ結する

B 過テイ

ア ある仮テイを基に研究する
イ 心の根テイにある気持ち
ウ 無言のテイ抗をする
エ 中学校の全課テイを終える

C 先タン

ア タンの的に表現している文章
イ 一月一日は元タンだ
ウ 何事にも一長一タンがある
エ 彼はタン究心が強い

D ギョウ天

ア 出版ギョウ界に就職する
イ キリスト教を信コウをする
ウ 新たな客を歓ゲイする
エ ギョウ列に並ぶ

E ヘイ害

ア 横ヘイな態度をとる
イ 会社が合ペイする
ウ 語ヘイがあるかもしれない
エ 江戸時代の貨ヘイを調べる

問二 ① ④ に入る語として適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上用いないこと。)

- ア たとえば イ だから ウ では エ しかし オ そのうえ

問三 傍線部①「変態」について説明した次の文章の空欄に入る語句として適当なものを、本文中から抜き出して答えなさい。(すべて指定された字数で答えなさい。)

トンボの「変態」は、① 五字 にあたり、幼虫である② 二字 のパーツに少し修正が加わり、成虫へと成長していく。それに対して、チョウはさなぎの時に幼虫時代の細胞を③ 五字 にし、細胞をすべて④ 九字 のである。家でたとえるならば、チョウの「変態」は、⑤ 二字 にあたる。

問四 傍線部②「こうした疑問」とありますが、どのような疑問ですか。解答欄に合うように本文中から二十三字で探し、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問五 次の一文を本文中の〈1〉～〈4〉のどの箇所に入れるのが適当ですか。数字で答えなさい。

ところが、そうなると食べた木材を消化できなくなるので、結局すぐにシロアリも死んでしまうのです。

問六 X に入る四字熟語を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 輪廻転生 イ 大器晩成 ウ 危機一髪 エ 一心同体

問七 傍線部③「これ」は何と何の関係を指しますか。それぞれ本文中から漢字二字で抜き出して答えなさい。

問八 傍線部④「幅をきかせ」の意味を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 勢力があること イ 制約があること ウ 古くなること エ まとめられること

問九 Yに入る一字を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 道 イ 我 ウ 縁 エ 法

問十 傍線部⑤「ブータンに行った時の話」から筆者はどのようなことを伝えようとしていますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア ブータンでは仏教の考え方が広まっているということ。
イ ハエなど人間以外の生物にも同等の命があるということ。
ウ 結びつきを意識することが大切であるということ。
エ 先祖を敬うことが重要であるということ。

問十一 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 私たち人類の体内には多くの菌がいるため、しっかり除菌する必要がある。
イ 私たち人類は環境を守ることが大切であり、今後も環境保全活動を続けるべきである。
ウ 私たち人類が宇宙で暮らせないのは、地球の空気に頼り切った生活をしているからである。
エ 私たち人類は「自分」だけで生きていくという間違った考えを持ってしまいがちである。

〔次頁に問題が続きます〕

【二】 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

ある時、鼠ねずみ、老若男女相集まりて僉議せいぎしけるは、「いつもかの猫といふ※Aいたづら者に亡ぼさるとき、千たび悔やめども、その益なし。かの猫、声を立つるか、しからずは足音高くなどせば、かねて用心すべけれども、ひそかに近づきたる程に油断して取らるのみなり。いかがはせん。」^①と言ひければ、故老ころうの鼠進み出でて申しけるは、詮せんずるところ、猫の首に鈴を付けておき侍らば、やすく知りなん。」^②と言ふ。皆々、「もつとも。」^③と同心しける。「しからば、このうちより誰出でてか、猫の首に鈴を付け給はんや。」^④と言ふに、上臈鼠※Bより下鼠しもに至るまで、「我付けん。」^⑤と言ふ者なし。これによつて、そのたびの議定事終はらで退散しぬ。

そのごとく、ひとのけなげだてをいふも、ただ畳たたみの上の広言なり。戦場にむかへば、つねに兵といふ者も震ひわななくと

X 見えける。しからずは、なんぞすみやかに敵国をほろぼさざる。

（『伊曾保物語』より）

※ 僉議：協議すること。

いたづら者：手に負えない者。

故老：「古老」と同じ。年寄り。

詮ずるところ：結局のところ。

上臈鼠：身分の高い鼠。

下鼠：身分の低い鼠。

議定：集まって話し合うこと。

けなげだて：勇ましく気丈なさま。

問一 傍線部A「いたづら」・B「上臆」じやうおつ および、次の1～4の歴史的仮名遣いの読み方を現代仮名遣いに改めなさい。(傍線部分をすべて書くこと。)

- 1 くれなゐ 2 かへる 3 ほのほ 4 あやしう

問二 傍線部①「取らるる」とありますが、何が何に捕られるのですか。適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 人 イ 猫 ウ 作者 エ 鼠

問三 傍線部②「いかがはせん」の現代語訳として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア どう言えばよいだろうか
イ どうしてもしなければならぬのだろうか
ウ どうすればよいだろうか
エ どうなるのだろうか

問四 傍線部③「言ふ」とありますが、この会話(カギ括弧の最初)はどこから始まりますか。本文中から探し、最初の五字を抜き出して答えなさい。

問五 傍線部④「同心しける」とありますが、皆々はどのようなことに同意したのですか。本文中の言葉を用いて、現代語で十五字以内で答えなさい。

問六 傍線部⑤「『我付けん。』と言ふ者なし」の理由を解答欄に合うように、本文中から十五字以上二十字以内で抜き出して答えなさい。

問七 Xに入る語を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア ばかり イ こそ ウ だけ エ ぞ

問八 後半の段落は、前半の段落の内容を受けて書かれています。後半の段落について説明した次の文章の空欄に入る語句として適当なものを、それぞれ本文中から抜き出して答えなさい。(ただし④に入る語は後の語群から選び、記号で答えなさい。)

強いはずの ① が戦場に向かっても、震えおののいてしまい、素早く ② を倒すことができない。それは、③ で考えただけで、実際には何の役にも立たない理論や案だからである。現代では同じ意味で、④ ということわざがある。

- (④の語群) ア 机上の空論 イ 棚からぼた餅 ウ ひょうたんから駒 エ 二階から目薬

問九 この作品は江戸時代に成立しました。同じ時代に成立した作品と作者の正しい組み合わせを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 徒然草―兼好法師 イ 玉勝間―本居宣長 ウ 枕草子―清少納言 エ 方丈記―鴨長明

【三】 次の問いに答えなさい。

問一 次のことわざ・慣用句の空欄に入る動物を漢字で答えなさい。また意味を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上用いないこと。)

- 1 子にも衣装 2 心あれば水心 3 芝居 4 も歩けば棒に当たる
- ア すぐにばれるような見えすいたくらみ。
イ 何かをしようとすれば、災難に遭うことも多いこと。
ウ どんな人間でも身なりを整えれば、立派に見える。
エ 相手の出方次第でこちらの対応が決まること。
オ 非常に忙しく、人手が不足していること。
カ 非常に仲が悪いこと。

問二 次の傍線部には漢字の誤りがあります。正しい漢字に直しなさい。(傍線部分をすべて書くこと。)

- 1 道路が困難している。 2 募集定員に達した。
3 彼は、非常に権約家だ。 4 副社制度が充実に充実している。

問三 次の空欄に対になる漢字を入れ、四字熟語を完成させなさい。

- 1 往 往 2 空 絶 3 三 四 4 針 棒

問四 次の文の傍線部の品詞と同じものを後から選び、記号で答えなさい。また、その品詞名を漢字で答えなさい。

どの方が、あなたのご友人ですか。

ア 彼の意見をどう思いますか。

イ これから図書館に行きます。

ウ 冬休みのある日の出来事を話す。

エ そんな無理なことを言わないでください。